

## 式辞（入学式 2018.4.3）

愛知県西尾で育った詩人茨木のり子さんの詩に「六月」と題するものがあります。

（この式辞の末尾に収録の詩を暗唱）

私たちの連携協力を励ます応援歌のようです。

本日も入学の皆様おめでとうございます。

保護者の方々には、ご息女ご子息のご入学を衷心よりお祝い申し上げます。

本日はご来賓として、学校法人名古屋石田学園理事長 石田正城様、東海市市長 鈴木淳雄様、知多市市長 宮島壽男様、愛知県議会議員 佐波和則様、東海市教育委員会教育長 加藤朝夫様、東海商工会議所専務理事 下村一夫様、一般社団法人愛知県作業療法士会理事 太田崇様、学校法人名古屋石田学園星城大学後援会会長 石川守様、本学の提携校の学校法人愛美学園啓明学館高等学校教頭 甲田徹也先生、同じく提携校学校法人愛西学園愛知黎明高等学校学校長補佐 向山幸隆先生、愛知県立半田東高等学校学校長 松田昌浩先生、日本舞踊西川流総帥 西川右近様、学校法人石田学園理事 半谷真宏様、同理事 真田明様、同星城高等学校学校長 四方元先生、同星城懇話会会長 浦野廣高様をはじめ多くのご来賓のご光臨を賜っております。

ご多忙のなか、誠にありがとうございます。衷心より御礼申し上げます。

（皆様お座りください。）

さて、本日、ご入学の皆様が、愛知県の知多半島東海市にメインキャンパスのある星城大学で大学生活を送ることができることは大変幸せなことだと思います。

なにしろ知多半島からは産業・経済を発展させ、人々のゆたかな生活を作り上げていくうえで大きな貢献をなさった方は数多くでていますが、それを身近に理解できますので、皆様方が社会で活躍するうえで大きな力となるはずだからです。財界の総理大臣といわれる経団連会長は歴代 13 人中知多半島から 2 人もでていますし、新しい産業を興した企業家も数多く、枚挙にいとまなく、短時間ではとても取りあげられません。

そこで、ここでは愛知用水の建設を成功に導いた知多市八幡の久野庄太郎さんについて少しだけ触れ、詳しくは別の機会に譲ります。愛知用水は日照りの被害から農家の苦しみを解決しようとしたものですが、井戸水に頼っていた知多半島の住民の日常生活を大きく改善しました。それに、愛知用水ができたので、製鉄所をはじめ多くの企業が立地可能となりました。そしてその結果、問題は皆無とは言えませんが、ここでは夜は星が輝き、昆虫も、メダカやキジやカモなども多く見事に産業と自然が共生できています。

本学入学の皆様は、こういうことに日常的に親しみ学ぶことができます。

本日入学式を始める前に東海市・民謡踊保存会の皆様に細井平洲先生の一

生を踊っていただきました。保存会の皆様ありがとうございます。

さて、本日ご入学の皆様、ご存知のように平洲師は、米沢藩の上杉鷹山公の先生となり、それによって倒産しかかっていた米沢藩は産業を興し、誠実に勤勉で、互いに助けあう文化を作り上げ、財政の立て直しに成功しました。

そして、徳川御三家の一つ尾張藩は、平洲師を招き藩のいわば大学である藩校明倫堂を作り、平洲師に学長になってもらいました。

上杉鷹山公と平洲師の思想と経営は、イギリスやアメリカで発達してきた近代理論経済学と経営学の考え方と実際の組織理論、リーダーシップ、さらに福沢諭吉の学に通じ、それらの先駆といえると思います。

そういう地で皆様は勉学できるのです。

ところで、星城大学は、研究力が高く、地域貢献もすぐれています。大学の研究力を示すよい指標は、文科省の実施している科学研究費補助金の採択状況といわれていますが、大学の教員の採択比率で見ますと、ここ最近の4年では、東海4県愛知・静岡、岐阜、三重の全私立大学63校のなかで、本学は悪くても10位で4位が2回、6位が1回です。

地域貢献は、日経新聞が調査していますが、東海4県のなかで本学は1位でした。しかも本学の地域貢献は高い研究力を背景にしたものです。

愛知県は、女性が輝く愛知を目指していますが、本学は女性輝き団体だと大学としては一番早く認定されています。

ですから、朝日新聞が、女性の輝きを促進しようと開催したシンポジウムでは、宮本悦子愛知県副知事につづき、本学の加藤知子学長補佐が愛知の大学を代表して報告をしました。

大学のスローガンは、楽しい 華やか、知的、夢実現大学ですが、大学のパティオ中庭では、赤、白、緑、青のガーデンパラソルの作る日陰で学生が楽しそうに談笑しています。時々ワッフルやアイスクリームを売る車が来るのも楽しいです。

リクルート社が東海地方の全部で七八大学と関東・関西の有力大学130、合計208大学について、大学のイメージを高校3年生にアンケートし、上位15大学を発表しましたが、それによると、高校3年生の女子の回答で、おしゃれな大学では星城大学は11位、上品なでは15位、落ち着いたでは11位、寮や奨学金が充実しているでは3位でした。

こういう大学で皆様は大学生活を送っていただけます。大学生活を存分に楽しんでください。そして、茨木のり子さんの詩にあるように、わたしたちは同じ時代を共に生きているのですから、美しい村、美しい街を作っていきましょう。

平成30年4月3日

星城大学学長

赤 岡 功

六月

茨木 のり子

どこかに美しい村はないか  
一日の仕事の終りには一杯の黒麦酒  
鍬を立てかけ 籠を置き  
男も女も大きなジョッキをかたむける

どこかに美しい街はないか  
食べられる実をつけた街路樹が  
どこまでも続き すみれいろした夕暮は  
若者のやさしいさざめきで満ち満ちる

どこかに美しい人と人との力はないか  
同じ時代をともに生きる  
したしきとおかしきとそうして怒りが  
鋭い力となって たちあらわれる